



内容解説資料

検討の観点 と 内容の特色

令和7年度 中学校

技術分野



1. 教育基本法（2条）との関連

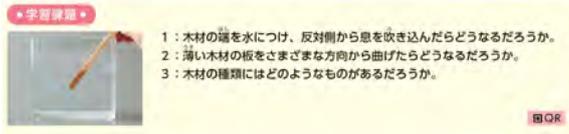
※ 学習指導要領の ABCD を「内容」と呼んでいます。

検討の観点	内容の特色	具体例
<p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い知識と教養の基盤となる、技術分野の基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるようにするとともに、生活の中の真理を追究できるようになるために、科学的な根拠をもとに、技術を理解・習得できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって
<p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する」問題解決的学習を通して、創造性や自主性及び自立性を養うことができるようにしている。 ●技術に関する職業の理解を通して、職業観・勤労観を育み、勤労を重んずる態度を養えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.16-17、50-73、128-147、188-201、252-263、266-275、288-294 ・ p. ⑤ -1、104-105、156-157、210-211、253、267、284-285 <div data-bbox="1098 707 1302 860" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1321 837 1426 887">p.284 インタビュー</p>
<p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●家族や友人、地域の人たちとの触れ合いやかかわりを通して、感謝の気持ち、自分や他者の尊重、男女の平等、家庭や地域への協力などの態度が育めるようにしている。 ●技術の評価・活用を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.16、21、23、50-59、234-235、290-291 など全般にわたって ・ p.24-25、100-101、152-153、206-207、280-281、288-289、⑨-⑩
<p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●技術と社会・環境とのかかわりの理解を通して、生命や自然への敬意、環境保全に寄与する態度、他者や自然と共生する態度を養えるようにしている。 <div data-bbox="507 1335 715 1554" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="730 1335 938 1554" data-label="Diagram"> </div> <p data-bbox="922 1480 1070 1554">p.165 未利用エネルギーの利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.4、9、29、75、115、119、123、127、142、149、152、157、165、179、203、206、277、⑨ <div data-bbox="1129 1335 1417 1532" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1214 1536 1426 1559">p.115 作物の管理作業</p>
<p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の伝統的な技術を知り、先人の知恵や技能が日本の文化を支え、発展させてきたことの理解を通して、日本の伝統と文化のすばらしさを理解し、自らの生活の中で継承・発展できるようにしている。 <div data-bbox="539 1756 1038 1912" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="863 1921 1054 1944">p.31 参考「博多曲物」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.26、31、32、48、110、134、292 <div data-bbox="1091 1659 1474 1912" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1098 1921 1458 1944">p.26 材料と加工の技術のとびら「姫路城」</p>

技術分野の目標（中学校学習指導要領解説 技術・家庭編より）

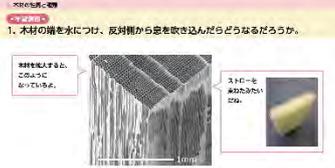
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

検討の観点	内容の特色	具体例
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見だし、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように、よく工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.74-75、148-149、202-203、276-277 など全般にわたって
(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各内容で共通して、社会における技術に気づき、基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるように工夫されている。 ● ガイドランスのページで技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。 ● 各題材とも、実験などを通して科学的な視点を育てる配慮が十分にされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般にわたって ・ p.12-13、27、29、99、107、109、151、159、161、205、213、215、279 ・ p.31、175、220、244 他随所の「学習課題」にて
	 <p style="text-align: right;">p.30 学習課題</p>	 <p style="text-align: right;">p.31 「実験」木材を曲げてみよう</p>
(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学習項目では、学習課題を設けて生徒に問題意識をもたせ、CHECK でふり返ることで、自ら解決しようとする能力を養うように組織されている。 ● 実習を行う際には、科学的な原理・法則などを踏まえて計画・設計し、身体的な技能などを用いて具体的なものが創造できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般 ・ p.50-73、128-147、188-201、252-263、266-275、288-294
(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各内容の最後では、社会や環境と技術とのかかわりについての理解に基づき、技術の在り方や活用のしかたを客観的に判断・評価し、主体的に活用しようとする態度が育めるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.100-101、152-153、206-207、280-281

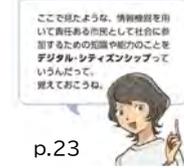
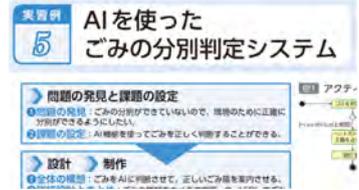
3. 学習指導上の効果や編成

検討の観点	内容の特色	具体例
生徒の主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各小項目の冒頭に設けられた「学習課題」を通して生徒が授業へ積極的に取り組むように配慮している(主体的な学び)。また、適所に配置している「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、他者との関わり合いをもちながら、技術の理解を深めることができる。さらに各小項目の最後に設けられた「CHECK」によって、自己の学びを調整し深い学びになるよう工夫している。 ●実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る力を身につけることができるように工夫されている。 	<p>・全般</p> <div data-bbox="1109 336 1452 481" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●学習課題●</p> <p>1:身の回りにある食料や植物由来の材料は、どのように育成されているのだろうか。</p> <p>2:牛の飼育にはどのような技術のしくみがあるのだろうか。</p> </div> <p>p.108 学習課題</p> <p>・p.50-73、128-147、188-201、252-263、266-275、288-294</p>
技術の見方・考え方をはたらかせる工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイダンスのページで技術の見方・考え方を取り上げ、各内容でそれを深めるようになっている。 ●各内容で、既存の技術を、技術の見方・考え方で読み解く活動がワークシート形式でできるようになっている。 	<p>・p.12-13、27、29、99、107、109、151、159、161、205、213、215、279</p> <p>・p.48-49、126-127、186-187、246-247</p>
各項目に配当する授業時数及び各項目の履修学年への対応がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容の範囲は、学習指導要領に適合しており、生徒の生活経験に十分配慮し、授業時数などの学校事情や生徒の実態にも弾力的に対応できるように工夫されている。 ●各内容の系統性は、基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されており、適切である。 ●「技術分野の学習の流れ」のページで技術の学び方が分かり、各内容のとびらでは学習する内容の「学習の流れ」が分かるようになっている。また、適所に「問題解決」や「進め方」が俯瞰できるページがあり、学習の見通しがつけやすい。 	<p>・全般にわたって</p> <p>・全般にわたって</p> <p>・p.14-15、27、50-51、107、128-129、159、188-189、213、252、266、286-287</p>
段階的な題材の配列がされ、学年の順序性は適切で工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、各内容の系統性も極めて適切である。 ●実習例は、基本となる実習から参考・応用的なものまで、いずれも生徒が関心と意欲をもって取り組めるような多様な例が扱われていて適切である。 	<p>・全般にわたって</p> <p>・p.50-73、128-147、188-201、252-263、266-275、288-294</p>
内容の分量は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●内容は全体として系統的・発展的に組織されており、分量や配分は、授業時数や多様な指導計画などに適応できるように考慮してまとめている。 ●本文は、特定の事項・事象・分野などにかたよることなく、全体として調和がとれている。 	<p>・全般にわたって</p> <p>・全般にわたって</p>
題材に魅力があり、多様な扱いができるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容で具体的な製品からしくみなどを考えるようになっており、興味を持って学習できるよう工夫されている。 <div data-bbox="782 1713 1053 1982" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>テレビが置ける大きさを板を安価に使用したい →材料に、表面がきれいな木目で内部が木質材料のものを使用した。</p>  <p>テレビが置けるようにじょうぶにしたい →背板を全面に取り付けることで、じょうぶな構造にした。</p> </div> <p>p.99 製品における最適化の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各内容の実習例では複数の題材を示しており、地域や学校事情等に適合した使い方ができる。 	<p>・p.⑤-1、8-13、16-17、26-29、99-101、106-109、151-153、158-161、171-173、205-207、212-215、279-281</p> <p>・p.50-73、128-147、188-201、252-263、266-275、288-294</p>

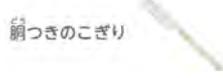
検討の観点	内容の特色	具体例
題材の系統性は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを十分考慮して範囲や程度が定められており、各内容の系統性も適切である。 ●各内容とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で系統的・発展的に組織されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・全般にわたって
言語活動が充実するような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●実習例における設計や計画などは、項目ごとにまとめながら文章によって表現できるようになっている。 ●各中項目のまとめとして、ワークシートによって調べたことや考えたことを文章でまとめる活動を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.53、55、57、130、189、255、269 他 ・p.48-49、74-75、126-127、148-149、186-187、202-203、246-247、276-277
図表・写真・イラスト等は学習の内容に関連して適切に用いられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容は、本文、図・イラスト・写真など、いずれも正確で、分かりやすく丁寧に記述されている。 ●写真や図版は分かりやすく、必要な箇所では、生徒が自分で作業をしているように見えるアングルで撮影した写真が使用されているなど、理解を促すための工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・p.77 他
各種マークやキャラクターは学習に効果があるように用いられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な箇所にマークを示すことで、生徒が主体的かつ効果的に学習を進めることができるように工夫されている。 ●キャラクターは多様性にも配慮され、生徒が関心・意欲を持って学習を進めるのに効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって <p style="text-align: right;">p.3</p> 
現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が関心を持って学習に取り組めるような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容の出口では、これからの技術について考えさせられるような話題が取り上げられており、将来的にも技術に関心や課題意識を持てるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.100-101、152-153、206-207、280-281 <p style="text-align: center;">p.101 建築用3D プリンタ</p> 
発展的に学習する内容の工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の意欲や興味・関心に応えられるように、「発展」マークを付し、本文と関連づけて無理なく配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.171
問題解決的な学習は、どのように扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容は、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、各段階とも生徒の興味・関心・意欲を高めながら、問題解決的な学習が無理なく展開でき、系統的な学習が進められるように工夫されている。これによって主体的に学ぶ力、創意工夫する力を養い、かつ家庭生活や社会生活で応用・実践していく基礎的・基本的な知識と技術が習得できるように配慮されている。 ●出口では、さまざまな技術を組み合わせた、統合的な実習を取り上げており、社会の問題に技術で対応するための考え方を深められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・p.288-294  <p style="text-align: center;">p.290 デジタル白杖の統合実習例</p>
カリキュラム・マネジメントにつながる工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページにて示している。また、文中で関連がある箇所にはマークが示されており、学年・教科横断的なカリキュラムが立てやすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.27、107、159、213、252 他  <p>小学校5年 理科 「植物の発芽、成長、結実」 p.114 小学校リンクマーク</p>
QR マークの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容の適切な箇所に QR マークを記載することによって、個別最適な学びが実現できるように工夫されている。 ●すべての学習課題に学習コンテンツが収録されており、学習課題を理解し、解答できるように工夫されている。さらに、各内容の出口の学習課題では、小項目全体を解説しており、技術の評価・活用を適切に理解できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって  <p>学習コンテンツのイメージ</p>

4. 配慮事項

検討の観点	内容の特色	具体例
個別最適な学びや協働的な学びを達成するための配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容の適切な箇所に QR マークを記載することによって、個別最適な学びが実現できるように配慮されている。 ●実験や学習課題などで、協力し、結果を話し合っ て検証するような協働的な活動ができるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・p.31、175、220、244 他随所の「学習課題」にて
特別の教科 道徳との連携についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●随所に地域や伝統文化に関する話題を取り上げ、地域や伝統文化を大切にする気持ちを育むよう配慮されている。 ●技術に関する職業の理解を通して、職業観・勤労観を育み、勤労を重んずる態度を養えるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.6、26、164、206 など全般にわたって ・p. ⑤-1、104-105、156-157、210-211、253、267、284-285
小学校や他教科との連携についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校や他教科とのつながりを各内容のとびらページにて示している。また、文中で関連がある箇所にはマークが示されており、学年・教科横断的なカリキュラムが立てやすいように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.27、107、159、213、252 他 <div data-bbox="1109 667 1396 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小学校や他教科とのつながり</p> <p>小3～6・図画工作 表現の活動</p> <p>小4・算数 立体図形</p> </div> <p style="text-align: right;">p.27</p>
地域性への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の目が地域に向くように、地域の技術について取り上げた写真や話題などを豊富に使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.6、26、164、206 など全般にわたって
作業に際して安全への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●安全教育は総合的な取り扱いに加え、個々の学習場面と関連づけて随所にマークを使って取り上げてあり、実践的で効果的である。 <div data-bbox="694 963 1061 1232" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>技術教室での学習</p> <p>作業前に工具や材料を点検しています。</p> <p>使用した工具をもとの場所に戻しています。</p> </div> <p style="text-align: center;">p.18「作業の安全」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・p.17、18-20、36、87、80、82、83、85、89、91、93、94、96、97、112、168、177 など <div data-bbox="1133 1008 1420 1176" style="border: 1px solid green; padding: 10px; text-align: center;">  <p>・刃の進む方向に手を置かない。</p> </div> <p style="text-align: center;">p.79 のこぎりびきの安全</p>
防災教育への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●防災に関する技術について、マークを使って取り上げ、具体的に防災意識を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.157、194、259、262、⑥-⑩
環境・共生への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●環境・共生に関する内容はガイダンスをはじめ、個々の学習場面や各内容の最後で取り扱い、学習活動や生活の中で環境や共生を大切にする実践の態度が身につくように配慮されている。 <div data-bbox="614 1456 1061 1657" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●材料と加工の経験による問題解決の活動について振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> -生活や社会の中からも問題を発見し課題を設定することができる。 -使用場面などの条件をふまえて構造や形状を設計することができる。 -安全で適切に製作することができる。 -設計や製作の過程に対する改善・修正を提案することができる。 -自分なりに楽しみ考えながら工夫で問題を解決しようとした。 <p>●学習の振り返りが「SDGs」の実践に向けてどのようにかかわっていたか振り返ろう。</p> <p>【振り返る責任】の責任にかかわった。</p> <p>マルチヨウの製作に携った異材は本材資源の有効活用になっている。また、設計時に材料ができるだけ少ないように寸法や材料取りを考えた。これは従来のデザイン（組み立てる組み立て）にかかわって感じた。</p> </div> <p style="text-align: center;">p.75 SDGs とのかかわり考えるワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって <div data-bbox="1117 1377 1420 1601" style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">環境</p> <p>廃棄するときのことも考えたい。</p> <p>工夫</p> <p>○部品同士をねじ止めにして、材料を分けて廃棄できるようにしている。</p> </div> <p style="text-align: center;">p.29「環境」マーク使用箇所の例</p>
日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●随所に地域や伝統文化に関する話題を取り上げ、地域や伝統文化を大切にする気持ちを育むよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p.6、26、164、206 など全般にわたって
キャリア教育についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●技術に関する職業の理解を通して、職業観・勤労観を育み、勤労を重んずる態度を養えるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・p. ⑤-1、104-105、156-157、210-211、253、267、284-285
英語教育への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の内容では、外来語や略語について本質的に理解できるように、英語の綴りが併記されている。 <div data-bbox="438 1937 1069 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表現する手法には、アクティビティ図などの統一モデリング言語(UML, Unified Modeling Language)や、フローチャートなどがあります(図1)。</p> </div> <p style="text-align: right;">p.242</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・p.217、219、220、222、224、226、227、228、229 など

検討の観点	内容の特色	具体例
プログラミング教育への配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラミングに対する本質的な理解を図るための基礎・基本が 6 ページ、プログラミングによる問題解決のページが 22 ページあり、授業時数と充実とのバランスがとれている。 ●実習例は Scratch などのブロック型言語を中心に問題解決を行いやすいように配慮している。また、一部の実習例と巻末資料にテキスト型の言語の例を取り上げ、生徒の実情や系統性を考慮できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.240-245、252-263、266-275 ・ p.259、298  <p>p.256</p>
情報モラルについて生徒指導と関連できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生の所持率が高いスマートフォンについて、基本的なルールやマナーをガイダンスでおさえられるように配慮されている。 ●ガイダンスで、デジタル・シティズンシップについて触れ、情報の技術の学習内容でセキュリティやモラルの知識を深めることで、その資質を高められるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.20-23 ・ p.23、230-239  <p>p.23</p>
知的財産権についての配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●知的財産権については、「情報の技術」の内容において、具体例をまじえてわかりやすくまとめられている。また、権利者の保護だけではなく、活用を促し社会の発展に寄与するという考え方で理解できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.236-239
急速に発展している AI について、適切に扱えるよう配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の技術の実習例において、AI を活用するものが数点取り上げられている。 ●生成 AI について、簡単なくみや AI が作成した文章を紹介するとともに、これからの活用方法について問題提起することで、生徒が自ら関わり方を考えられるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.260、275 ・ p. 280  <p>p.275</p>
カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●色覚特性(カラーユニバーサルデザイン)に配慮されており、専門家による校閲が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般にわたって  <p>p.79 線を白く縁取っている</p>
特別支援の観点に配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●文章は、特別支援教育の観点から、単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。 ●可読性の高いユニバーサルデザインフォントを全面的に使用しており、文字が読みやすいように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般にわたって ・ 全般にわたって
COVID-19(コロナ 2019)に関する社会の変化について配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●COVID-19(コロナ2019)によって、感染を避けながらコミュニケーションやサービスができるように、さまざまな技術があったことに気づけるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.295
技術分野の正規教員の不足や教員の働き方改革など、教員の負担軽減に向けて配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書全体を通して、学習指導要領の内容を生徒が無理なく学習できる分量になっており、構成や図版の工夫によりどの教員でも指導しやすいよう配慮されている。 ●各内容は「基本→問題解決→社会へ」という基本構成になっている。また、各ページは「学習の目標、学習課題→学習内容(本文)→CHECK(ふり返し)」という流れで構成されている。そのため、どの内容、どのページでも同じように指導できるようになっている。 ●学習指導書やデジタル教科書、技家ノートなどの教材を発行予定で、いずれも授業を進めやすく、また深められるように工夫されており、授業準備や評価などの負担を軽減することが期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全般にわたって  <p>デジタル教科書のイメージ</p>

5. 造本や体裁

検討の観点	内容の特色	具体例
印刷は鮮明で見やすいものがあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●全ページカラー印刷で美しく印刷されている。 ●用紙は写真や色彩の再現がよいものが採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・全般にわたって
製本は堅牢で使いやすいものであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙は薄くて丈夫なうえに、軽量化された用紙が使用されており、生徒の負担にも配慮されている。 ●製本は強固に接着がされており堅牢で、長期の使用に耐えるものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・全般にわたって
文字の書体や大きさは、生徒の発達段階を考慮したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用していて読みやすく、内容に応じて適切な大きさが使われており、生徒の発達段階を配慮したものとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって 
文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●各内容とも、基礎的・基本的な事項が習得できるように、要点を押さえて系統的かつ詳しく丁寧に記述されている。 ●重要語句は太字(ゴシック体)にして、表記のめりはりをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・全般にわたって
環境に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙は、環境・資源に配慮した用紙が採用されている。 ●印刷インキは環境に配慮した、植物油インキが採用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって ・全般にわたって 
表紙は魅力的なものであるか。	<ul style="list-style-type: none"> ●表紙は、「技術分野」の学習内容を想起させながら、「テクノロジーに希望をのせて」というタイトルに合った夢のあるイラストになっている。生徒の関心・意欲を喚起することもでき、数年間にわたって使用するのにふさわしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙
レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ●レイアウトは、見開きを有効に活用しており、本文及び参考などの資料との区分も明確である。 ●各学習項目は基本的に見開き単位でまとめられている。 ●奇数ページ右上には爪見出しが設けられ、ページが開きやすい。また、爪見出しに置かれている資料写真が生徒の興味・関心を引き出すように工夫されている。 ●ページの下部に「豆知識」が設けられており、生徒が興味・関心をもちながら知識を習得できる。  <p><small>四季がある日本では、年輪は春から夏にかけて形成され、早秋は春枝、晩秋は夏枝とも呼ばれます。季節にたいや中国産な地域では、はっきりした年輪が形成されない種類もあります。</small></p> <p>p.30「豆知識」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・p.③-④、14-15、18-19、46-47、112-113、132-135、286-287、⑥-⑧、⑨-⑩ 他 ・全般にわたって ・全般にわたって ・全般にわたって ・全般にわたって  <p>萌つきのこぎり p.51 爪見出し</p>

・QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



開隆堂出版株式会社

<http://www.kairyudo.co.jp/>

■本 社 〒113-8608 東京都文京区向丘 1-13-1

TEL.03-5684-6111

●北海道支社 〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 番地 21 52 山京ビル 7 階

TEL.011-231-0403

●東北支社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-10-7 サンライン第 66 ビル 5 階

TEL.022-742-1213

●名古屋支社 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵 1 丁目 15 番 18 号 オフィスサンナゴヤ 9 階

TEL.052-908-5190

●大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 2-10-16

TEL.06-6531-5782

●九州支社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港 2-1-5 FYC ビル 3 階

TEL.092-733-0174